

「やまもも」第1集は、1977年（昭和52）に発行され、1978年（昭和53年）に第1回高知県児童詩教育研究大会が開かれ、そこで高知県児童詩研究会が結成された。その児童詩教育のうねりの元になったのは、城藤吉先生はじめ幡多作文の会の先輩方の活動だったのだ。

幡多作文の会は1954年（昭和29年）に結成されている。そして詩いっばい運動が提唱され、毎年幡多児童詩展が開催された。これは1978年（昭和53年）まで10回継続され、この後は県児童詩研究会発足と同時に「やまもも」の編集や研究会開催に加わることとなる。先輩の先生方の情熱や実践には頭の下がる思いだ。

資料を見てみると、県の児童詩教育研究会の会長には、幡多作のメンバーの名前が多く見られる。

昭和55年～昭和60年	山崎 迎先生
昭和63年～平成元年	正木 忠先生
平成2年～平成3年	坂本 浩先生
平成8年～平成9年	宮川昭男先生



これ以降は手元に資料がないので分からないが、幡多作の会事務局のメンバーが、何人か会長を務めたことだろう。

「やまもも」の出版はなくなったが、児童詩研究会は存続してもらいたいものだ。こども同士を繋ぎ、教師とこども、教師と親、こどもと親を繋ぐ詩教育はなくてははいけないと思う。

